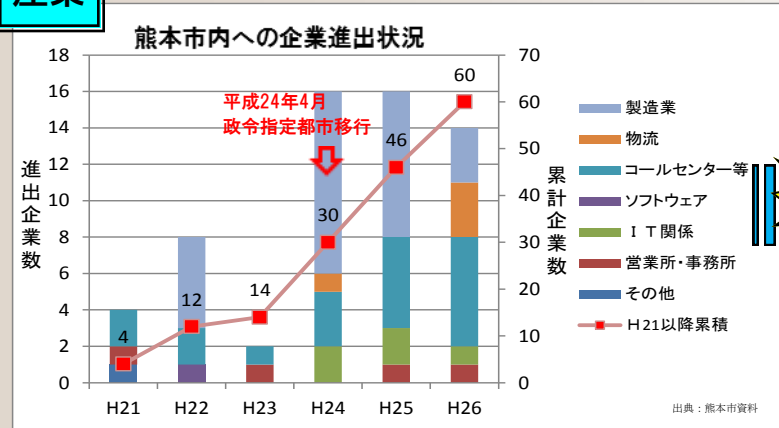


「創造的な復興」の推進のために

熊本県は、これまで整備された道路のストック効果によって、近年産業や観光、更には農業などの分野で急速に成長を遂げてきました。

産業

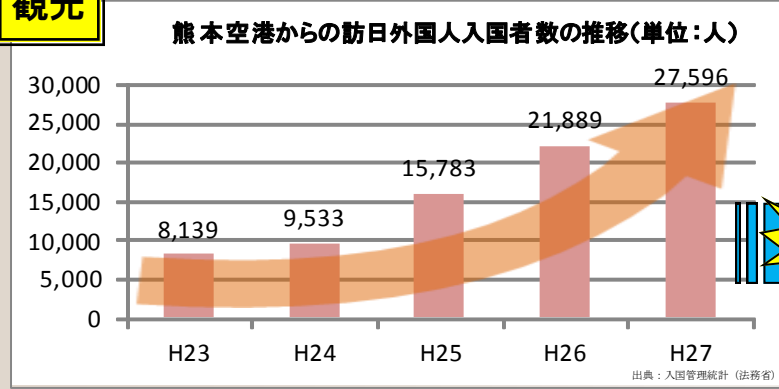


地震

- 熊本市内の「製造業」、「卸・小売・サービス業」、「宿泊業」の事業所における推計被害額 **1,720億円** (H28.6.3現在)
- 企業誘致で熊本の売りの一つであった災害リスクの低さが見直され、他都市との競争において今後苦戦が予想される。

出典: 熊本市資料

観光



地震

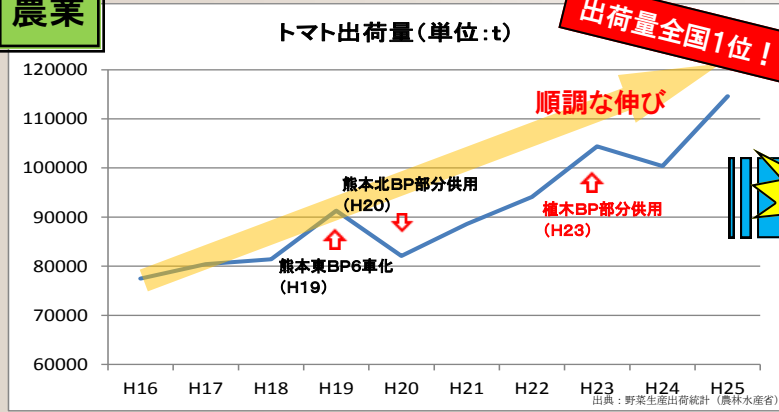
- 熊本城入場者数(4月~6月) (単位: 万人)

年度	日本人	外国人
H23	40	10
H24	45	10
H25	40	10
H26	40	10
H27	45	10
H28	10	5

 熊本空港訪日外国人入国者(4月~6月)は前年比約▲50%
- 「世界遺産 万田坑」のH28年度入場者数(4月~6月)は前年比約▲46%の8,417人

出典: 熊本市資料, 荒尾市資料

農業



地震

- 農作物等の被害状況 (H28.7.13 農林水産省発表)
 - 農作物の損傷 2.6億円 (熊本県・大分県)
 - 家畜の斃死等 9.9億円 (熊本県・大分県)
 - 共同利用施設の損壊等 196.6億円 (熊本県・大分県・宮崎県)
 - 農業用ハウスの損傷 11.8億円 (熊本県・大分県・宮崎県)
 - 畜舎等の損壊 128.8億円 (熊本県・大分県・宮崎県)
- 349.7億円** (H28.7.13現在)

熊本地震によって受けた影響を最小限にとどめ、「創造的な復興」を力強く推進するためには、**道路整備によってもたらされる更なるストック効果の早急な発現が必要不可欠です！！**

平成28年 熊本地震

～災害に強い道路ネットワークの構築を目指して～



地域高規格熊本環状道路建設促進期成会
 有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会
 国道3号植木バイパス建設促進期成会

熊本地震発生直後における熊本都市圏の渋滞状況

平成28年4月17日(日)

※ 掲載の画像は全てが4月17日のものではありません。
渋滞箇所のデータは国土技術政策総合研究所集計データ(速報値)より抜粋

【凡例】
旅行速度が10km/h未満

国道208号(玉名市田崎)



特に激しい交通渋滞が発生した国道3号や国道501号を避けるため、大量の車両が国道208号に流入した。

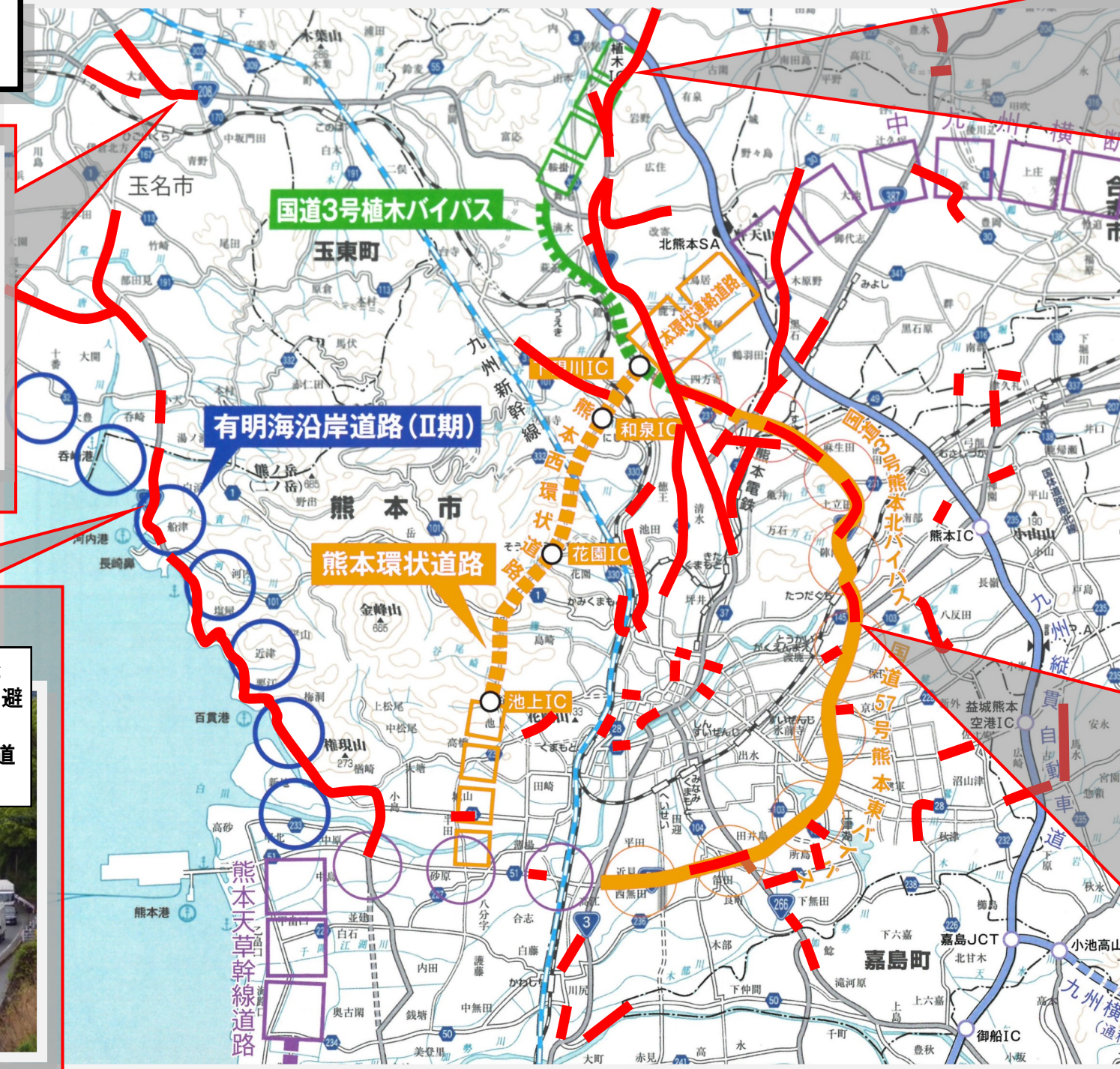
国道501号(熊本市西区)

国道501号は長崎県や佐賀県側からのルートとなっており、人や物資の輸送や国道3号の渋滞を避ける車両が流入し、激しい交通渋滞が発生した。リダンダンシー確保の観点からも「有明海沿岸道路(Ⅱ期)」整備の重要性が改めて確認された。



○熊本市役所から植木ICまで(約15km)の旅行時間は、平常時は約33分であるが、本震翌日(4月17日)には**平均旅行速度が9.1km/hに低下し、平均旅行時間も3倍を超える約100分**を要している。

○熊本市消防局救急小隊の平常時の現場到着時間は、7分23秒(H27平均)であるが、本震翌日(4月17日)の現場到着時間は10分41秒であった。また、**特に被害の大きかった益城町・西原村においては、19分25秒**を要しており、救急救助活動に大きな支障をきたした。



国道3号(熊本市北区)



国道3号は熊本都市圏の南北を縦断する重要な路線であり、熊本市北区植木町付近では慢性的な交通渋滞が発生しているところであるが、熊本地震によって九州縦貫自動車道が被災・寸断されたことにより、県北方面からの車両が集中し、深刻な交通渋滞を引き起こした。災害に強い道路ネットワーク構築のためには「国道3号植木バイパス」の早期整備が不可欠。



国道57号熊本東バイパス(熊本市東区)

国道57号熊本東バイパスは、熊本ICや阿蘇方面からの交通の要であり、朝夕の通勤時間帯には慢性的に渋滞が発生している路線である。

熊本地震後は、特に激しい交通渋滞が発生しており、「主要5交差点の立体交差化」による交通渋滞の緩和が必要。